

2025 年 11 月 14 日

南海電気鉄道株式会社
eスタジアム株式会社
株式会社Meta Heroes
株式会社Meta Osaka
ENTER FORCE.36
étoile

＼子どもたちの夢を育む“大人気職業体験イベント”が春・冬の2シーズンへ拡大！／ 第3回「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2025 冬」開催 11 月 14 日(金)から参加申込がスタート！！

南海電気鉄道株式会社(代表取締役社長 岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)は、泉佐野市の「e スポーツ MICE コンテンツ実証事業」の受託として「e スポーツ先進都市・泉佐野」の確立を目指した事業を行っています。

本事業の一環として、南海電鉄では e スタジアム株式会社(代表取締役社長 加藤 寛之)とともに 2025 年 12 月 13 日(土)、14 日(日)の2日間、「泉佐野オチャリーナ」にて、全国の小・中学生を対象とした職業体験イベント「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2025 冬」(主催: 泉佐野市)を開催いたします。



第1回開催時の様子

本イベントは、子どもたちに大人気のゲームや動画コンテンツを題材に、「職業」の観点から触れるきっかけを提供し、親子で新しい職業観を学ぶ職業体験イベントです。2024 年春、2025 年春の開催に続き、多くの皆さまにご好評をいただいた本イベントを、さらに多くの方々にご体験いただけるよう、このたび「冬」シーズンの開催を追加する運びとなりましたので、お知らせいたします。

2010～2024 年生まれの“アルファ世代”は、AI やメタバースなどのデジタルテクノロジーが生活の中に自然に組み込まれているデジタルネイティブとされており、デジタル技術への関心も高い世代です。近年の「将来なりたい職業ランキング」では、「動画投稿者／クリエイター」「プログラマー」「ゲームクリエイター」など、“つくる仕事”が上位を占めていますが、こうした職業に実際にふれ、身近に学ぶ機会はまだ多くありません。

このような現状を踏まえ、本イベントでは、世界で活躍する e スポーツ選手や、ゲーム・動画を手がけるクリエイターたちとの出会いを通じて、「好き」なことが「学び」につながる瞬間を体感できる2日間をお届けします。

さらに今回は、3月の開催に続き、「泉佐野市長杯」も同時開催いたします。泉佐野市内の小・中学生を対象に、チームで力を合わせて挑戦する競技を通じて、「学び」と「成長」そして「夢」を描く舞台を提供します。

「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2025 冬」の参加申込は、11月14日(金)から受付開始となります。ぜひ、奮ってご応募ください。イベントの詳細は以下のとおりです。

e スポーツゲームクリエイターアカデミー2025 冬 概要

(1)開催日 2025年12月13日(土)・14日(日) 10:00～18:00

(2)開催場所 泉佐野オチアリーナ（大阪府泉佐野市りんくう往来3 りんくうシークル2階）

(3)イベント内容 ①e スポーツ体験ブース－見て、遊んで、学ぼう！
②ゲームクリエイター体験ブース－キミだけのキャラクターをゲームの世界へ飛び込ませよう！
③インフルエンサーファンミーティング－聞いて、話して、つながろう！
④プロe スポーツチームがやってくる！－ENTER FORCE.36 ブース
（大人気ゲーム対戦会・ドローンパイロット体験・ゲーミンググッズ抽選会）
※内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

(4)参加対象 小学生～中学生(18歳以上の同伴必須)

(5)参加費 無料(事前申込制)

(6)申込方法 11月14日(金)より申込受付を開始いたします。 ※申込締切は、11月30日(日)23:59まで
HP記載の申込フォームからお申込みください。
URL：<https://e-stadium.jp/2025/11/14/esports-gamecreator-academy2025-winter/>

(7)お問い合わせ e スタジアム株式会社 イベント総合お問い合わせフォーム
URL：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe8hFDiH80U9Dyx1cfeOZMD1VfEC3e_NiDMaAvLp2AxocKTOg/viewform

(8)開催の経緯 近年子どもたちの「将来になりたい職業」には、プロe スポーツ選手やストリーマー、ゲームクリエイターなど、デジタル業界に関わる職種が上位に挙がっています。しかし、実際にそれらの職業にふれ、学ぶ機会はまだ限られているのが現状です。そこで泉佐野市では、「e スポーツ MICE コンテンツ実証事業」の受託者である南海電鉄およびe スタジアムの企画・運営により、2024年3月に第1回「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2024 春」を開催。続く第2回とともに、2日間で1,000名を超える来場者を記録し、子どもたちが「好き」をきっかけに社会や仕事を学ぶ、新しい形のキャリア教育イベントとして、多くの参加者の皆さまからご好評をいただきました。
今回の開催においては、前回の成果を踏まえ、引き続き子どもたちの夢や関心を育むとともに、保護者にとってもデジタル分野の理解を深める機会を創出します。
地域から未来のデジタル人材を育てる、“学びと体験の循環”を目指してまいります。

(9)開催体制 主催：泉佐野市
企画・運営：南海電気鉄道株式会社、e スタジアム株式会社
株式会社Meta Heroes、株式会社Meta Osaka、ENTER FORCE.36、étoile
協賛：ユタカ交通株式会社

【同時開催】泉佐野市長杯

(1)開 催 日 ●予選 2025 年 12 月 13 日(土) 10:00～13:00

●決勝 2025 年 12 月 14 日(日) 13:10～14:00

(2)開 催 場 所 (予選)e スタジアム泉佐野 (決勝)泉佐野オチアリーナ

(3)参 加 対 象 泉佐野市在住の小学生および中学生 泉佐野の小学校および中学校に通う生徒

(4)参 加 方 法 事前募集・申込制(対象校にて応募に関するフライヤーを配布)

(5)競 技 種 目 1 チーム 2 名で【ライフル射撃】【クレイ射撃】をそれぞれ担当し、合計得点で競います。

(6)大会の概要 2024 年に初開催した「泉佐野市長杯」は、泉佐野市が推進する「e スポーツ MICE コンテンツ実証事業」および「教育×地域連携」の理念を具現化した地域の e スポーツ大会です。第 2 回の開催を迎えるにあたり、市内の小・中学生がチームを組み、学校や学年の垣根を越え勝利を目指して挑戦する、かけがえのない舞台を子どもたちに提供します。

さらに本大会では、2025 年 7 月に大阪・関西万博の舞台で選出された、未来のオリンピック候補である「強化指定選手」4 名も出場し、優勝を目指します。



第 1 回市長杯の様子



出場選手へのインタビュー



泉佐野市 千代松市長と優勝選手ら

泉佐野市が取り組む e スポーツ MICE コンテンツ実証事業について

泉佐野市では、関西国際空港を有する都市としての特性を活かし、観光・産業・教育を掛け合わせた地域活性化を目的に、「e スポーツ MICE コンテンツ実証事業」を推進しています。本事業は、e スポーツを通じて新たな交流や学びの場を創出し、地域資源を活かした次世代型の地方創生モデルを実証するものです。「e スポーツ」や「デジタル教育」と組み合わせ、子どもから大人まで幅広い世代が、学び・体験を通じて交流できる新しい地域イベントを創出。行政・企業・教育機関が連携し、e スポーツを軸とした持続可能な地域発展モデルの構築を目指しています。



e スタジアム泉佐野



e スポーツキャンプ



e スポーツゲームクリエイターアカデミー

※MICE(マイス)とは、企業会議(Meeting)・研修旅行(Incentive)・国際会議(Convention)・展示会(Exhibition/Event)の頭文字を取ったもので、交流人口・滞在人口の拡大を目的とした産業振興施策を指します。

第2回「eスポーツゲームクリエイターアカデミー2025 春」開催報告

多数の応募もと、親子でデジタルの学びを体験していただきました。泉佐野市をはじめ、府内外の各地からも多数の参加があり、地域を越えてイベントの認知と関心の広がりを見せています。

会場では、eスポーツ選手やクリエイターによるトークセッション、ドローン体験など、“見る・遊ぶ・学ぶ”を融合させた体験型プログラムを展開。親子が一緒に体験することで、デジタル業界への理解を深めるきっかけとなりました。



<保護者の声> ※一部抜粋



・ゲームと聞くとエンターテインメント要素の強いものをイメージしていたが、頭の回転や反射神経が必要なものだとなった。子供が興味を持ってくれた時には応援したいと思った。



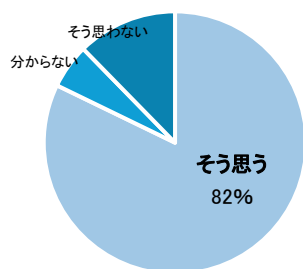
・プログラミングに熱中していて、とても楽しかったと言っていた。



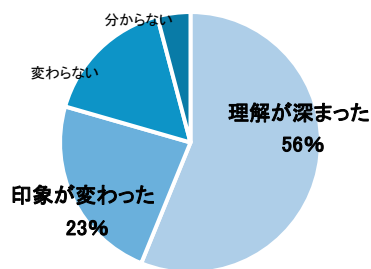
・eスポーツという存在を知らなかったが、パソコンのスキルもつけながら楽しんで取り組めるものだったと思った。

<アンケート>

夢や希望につながる
内容だったと思いますか？



eスポーツについて
考えの変化は？



第2回開催時アフタームービー
はこちらから



第2回「eスポーツゲームクリエイターアカデミー2025 春」(2025年3月29日(土)～30日(日)開催)の様子を動画でご視聴いただけます。

URL: <https://youtu.be/2QIStkmj8to?si=nNx51-jLTb3UJavC>

以上

<資料提供先> 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西国際空港記者会ほか

【本件に関するお問い合わせ先】

e スタジアム株式会社 広報担当 [TEL] 06-4980-0476
南海電気鉄道株式会社 総務広報部 [TEL] 06-6644-7125

別 紙

e スポーツゲームクリエイターアカデミー2025 冬

【イベント概要および企画・運営団体について】

※企画内容が変更になる可能性がございます。予めご了承ください。



イベント企画内容詳細

① e スポーツ体験ブース ― 見て、遊んで、学ぼう！

※e スポーツ体験に使用する一部コンテンツについては13歳以上のお子さまが対象となります。



「e スポーツってなんだろう？」をテーマに、プロのクリエイターが制作したミニゲームを実際にプレイしながら、楽しみつつe スポーツの魅力を体験できるブースです。

どのようなゲームにも“作り手”がいることを知り、クリエイターの仕事に触れることができる内容となっています。PCに触れたことがない方でも、スタッフが丁寧にサポートしますので、安心してご参加いただけます。

② ゲームクリエイター体験 ―キミだけのキャラクターをゲームの世界へ飛び込ませよう！



前回開催時から内容を一新し、今回はキャラクターを活用した本格的な **3D デザイン・モデリング体験**を実施します。「自分でデザインしたキャラクターがゲームの中で動き出す」瞬間を体験できる、“つくる側”のクリエイティブワークに挑戦できる体験です。

パソコン上でキャラクターのテクスチャ(色・模様)をデザインし、3D モデリングソフト「Blender」に読み込んで立体化。自分のキャラクターが動き出す瞬間をリアルタイムで体験できます。

イベント終了後には、完成したキャラクターデータをもとに、参加者全員の作品を反映した特別なゲーム内ワールド「HeroEgg World」を制作し、一般公開予定です。「自分の作品が実際にゲームの世界に登場する」体験を通じて、子どもたちの創造力を育み、学びと遊びがにつながる“継続的な体験価値”を提供します。

(講師：Meta Heroes / 使用ソフト：Blender)

◎ゲームクリエイター とは？

ゲームクリエイターは、ゲームの企画、デザイン、プログラミング、グラフィックなど、ゲーム制作に関わる仕事をを行います。企画を行う「ゲームプランナー」や、デザインやモデリングを行う「3DCG モデラー」、プログラミングによりゲームシステムを構築する「ゲームエンジニア」など、さまざまなクリエイターが一つのゲームを制作します。

◎Blender とは？

Blender は、世界中のクリエイターに利用されているオープンソースの 3D 制作ソフトです。アニメーション映画やゲーム制作など、さまざまな分野で活用されています。Blender では、キャラクターのモデリングやアニメーション、背景づくりまでをひとつのツールで行うことができ、想像した世界を自由に形にすることが可能です。

③ インフルエンサーファンミーティング – 聞いて、話して、つながろう！



動画配信/投稿などで小・中学生から人気を集めるインフルエンサーが登場！トークショーや質問コーナー、じゃんけん大会、記念撮影などを通して、“好きなことを仕事にする”リアルな話を聞ける、貴重な交流の時間です。画面の中だけでは分からないインフルエンサーの生活について、実際に触れ合いながら関心を深めることができるステージです。子どもたちにとって憧れの存在との出会いが、新たな夢や目標を描くきっかけになるでしょう。

※ファンミーティングに参加するスペシャルゲスト・最新情報は後日、e スタジアム公式 HP および SNS にて発表いたします。



会場内には、親子で楽しめる縁日ブースをご用意！射的や屋台など、誰でも気軽に参加できるコンテンツで、イベントに笑顔と賑わいを添えます。

④ プロeスポーツチームがやってくる！ - ENTER FORCE.36 ブース



大阪を拠点に世界で活躍するプロeスポーツチーム「ENTER FORCE.36」が会場にやってくる！
プロのeスポーツ選手と一緒に大人気ゲームを楽しめるコーナーや、ドローンパイロット体験、豪華景品が当たる抽選会など、子どもから大人まで楽しめる内容を展開します。参加者の皆さまがプロ選手と直接触れ合い、夢を抱くきっかけを提供いたします！

●大人気クッキングゲーム体験コーナー



チームワークが勝利のカギとなる大人気クッキングゲームを使用し、親子2名のペアで協力して料理を完成させよう！

スコアを競い合い、会場一体となって楽しめるステージです。

●ドローンパイロット体験「ドローンアドベンチャー」



ドローンを操作し、設定されたコースをクリアして得点をゲットしよう！
スコアに応じて景品がグレードアップするゲーム性を取り入れ、操作を通して集中力・空間認識力・挑戦心を育みます。
終了後はドローンと一緒に記念撮影も可能です！

●ゲーミンググッズ抽選会



プロチームからのクリスマスプレゼント！
豪華ゲーミンググッズや、子どもたちに人気のアイテムが当たる抽選会をご用意！参加者全員がワクワクできる“お楽しみイベント”として会場を盛り上げます！

＜ユタカ交通株式会社 出展ブース＞

ユタカ交通株式会社および一般社団法人和歌山新城下町 DMC は、和歌山市の観光振興を目的に、「Fortnite」上で和歌山の街並みを再現したオリジナルマップを制作。当日は、同マップを活用した「和歌山城パルクール MAP」タイムアタックレースを開催し、初級から上級まで幅広い難易度で来場者が挑戦できる体験型ブースを展開します。上位入賞者にはデジタル証明書および賞品を授与し、デジタル技術を通じて“遊びながら学ぶ観光体験”を提供します。



参画企業について

株式会社Meta Heroes

株式会社Meta Heroes(代表取締役:松石 和俊)は、「Society 5.0 × SDGs × HERO」をテーマに、メタバース(XR)やAIを活用したデジタルコンテンツ開発、DX教育施設『Hero Egg』の運営、そして半年で 15,000 名を超えるAI企業研修などを展開しています。地域・自治体・教育機関・企業と連携し、次世代の教育や防災・地方創生といった社会課題の解決に取り組み、リアル×メタバース×AIの融合によって“人と地域をつなぐ新しい価値”を創出しています。



株式会社Meta Osaka

『大阪を世界一おもしろい都市(まち)に』をミッションとして、Roblox や Fortnite でのオリジナルメタバースの開発や、デジタル技術を活用したイベントの企画運営で地方自治体や地域の社会課題解決、経済活性化に取り組んでいます。なんばパークス内「e スタジアムなんば本店」の「メタバースサロン」の企画運営や、全国で累計約 9 万人を動員した「こども万博」を主催。南海電気鉄道株式会社、e スタジアム株式会社との協働により、「デジタルエンターテインメントシティ構想 NAMBA」を推進し、その中のプロジェクトとして「XNAMBA(エックスナンバ)」など、AI や XR 技術を活用した次世代の街づくりと人材育成に挑戦しています。



ENTER FORCE.36

ENTER FORCE.36 は 2019 年に結成し、大阪を拠点に活動しているマルチゲーミングチームです。所属選手やコーチには海外選手も多数在籍しており、エンターテインメントが持つ“目に見えない力”で、人々に感動と勇気を与えることを使命として、世界を舞台に活躍しています。2025 年 7 月には、Apex Legends 部門から ILY 選手、Cinap 選手、Jusna 選手がサウジアラビア・リヤドで開催された世界最大規模の e スポーツトーナメント「Esports World Cup 2025」に出場。日本からの挑戦者として存在感を示し、世界 9 位を勝ち取りました。2024 年には、スマブラ SP 部門の Hurt 選手がカナダで開催された「Battle of BC 6(大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL)」で日本人史上 2 人目の優勝、同年には Fortnite 部門の Shelom 選手がアメリカ開催の世界大会に出場するなど、複数部門で世界基準の成果を収めています。



étoile(エトワール)

étoile(Art Leader <代表>: 田中 愛梨)は、空を舞台に人々の“想い”を光で描く、空の表現者集団です。芸術・テクノロジー・社会的想いを融合させた新ジャンル「THE SKY ENTERTAINMENT」で、国境や言語を超えて、エンターテインメントが持つ“目に見えない力”で人々に感動と勇気を届けることを使命に、日本国内外で活動しています。



ユタカ交通株式会社

ユタカ交通株式会社(代表取締役: 豊田 英三)は、和歌山県を拠点に旅客運送事業を展開する企業で、1954 年の創業以来、「安全・安心・快適な移動」を通じて地域の交通インフラを支えています。

近年では、移動サービスの枠を超えた地域活性化や観光 DX への取り組みを推進しており、和歌山の魅力をデジタル空間で発信する「メタバース和歌山」など、地域資源を活用した新たな挑戦にも注力しています。2024 年 3 月 21 日には、和歌山市のコワーキングスペース「Work & Study IDEA」内に e スタジアムサテライトスタジオ和歌山を開設。地域交通事業者ならではのネットワークと信頼を生かし、e スポーツを通じて“人と地域をつなぐ新しい交流拠点”の創出を目指しています。



以上